

平成九年三月

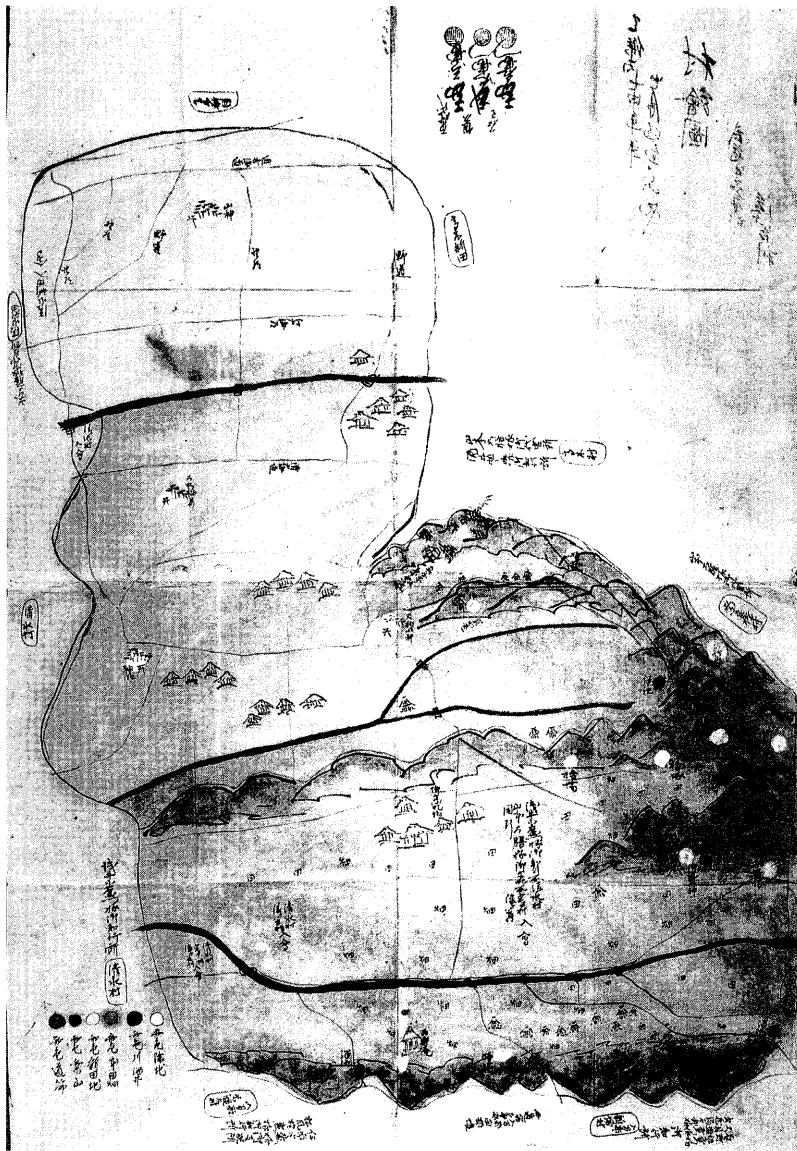
史料館所蔵史料目録 第六十五集

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

史
料
館

史料館所蔵史料目録 第六十五集

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録



1. 天保7年7月 武蔵国多摩郡後ヶ谷村絵図
〔史料番号 2696〕

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第六十五集として、武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書を収めた。
- 一 史料は杉本家文書の存在形態とその内容から、大・中・小の項目を立てて編成配列した。各項目の見出しは大項目は一二ポイント・ゴチック活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイント・ゴチック活字で示した。
- 一 史料目録の記載欄は、原則として(一)表題 (二)作成年月日 (三)作成者または差出人 (四)宛名 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題(史料名称)は原則として原表題を採ったが、適宜改変したものもある。原表題のないもの、および原表題を改変したものは、仮題名を掲げ、() を付して前者と区別した。また表題のみでは内容が判別できないものには、簡単な内容摘記を()内に八ポイント活字をもつて併記した。
- 一 原表題の中にある変体・異体・略字などは原則として常用漢字に改めたが、ㇿ(より)は残した。
- 一 作成年次は年月日・干支を採った。また推定年代は()を付した。
- 一 作成者または差出人および宛名のうち複数のものの一部などは適宜省略し、その人数のみを記したのものもある。
- 一 資料の形態は、簿冊類では、縦帳・横帳などで示し、一紙書付類は通をもって数量を示した。
- 一 巻末に簡単な解題を付した。
- 一 本目録の作成、解題等は森安彦が担当した。

目次

口絵

凡例

武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書目録

目次

目録

解題

頁

一

三

五

二九